

「労働者派遣業務（2020年12月契約開始分【事務派遣】）」に係る一般競争入札に関するQ&A

最終更新日：2020年11月2日  
独立行政法人情報処理推進機構

No	資料名	ページ	項目名	質問内容	回答
1	仕様書	18	担当業務内容	『1. 講師派遣事務（依頼者・講師とのメールのやりとり）』について、依頼者とは誰か。 『2. 後援名義の下付事務』とは具体的にどのような業務か。	依頼者は、講師が講演を行うイベントやセミナーの主催団体（官公庁や外郭団体など）の運営事務局になります。 後援名義の下付事務については、IPAの名を後援として使用する際の機構内外の手続き（依頼者との後援名義使用申請書のやり取りや内部決裁）等のことを指します。
2	仕様書	20	担当業務内容	『1. ③問合せの窓口等（技術者へのつなぎ）』について、技術者とは誰か（社内又は社外の者など）。	IPA内のシステム管理を担当するデジタル戦略推進部の職員及び管理を委託している事業者です。
3	仕様書	22	担当業務内容	『セキュリティセンター セキュリティ対策推進部 脆弱性対策グループの責任者の指揮・命令のもと、担当者として、・・・』について、担当者とはIPA職員という認識でよいか。	担当者=IPA職員という認識で相違ありません。
4	仕様書	23	必須要件	『7) Excel について応用操作ができること。（ブック・シートの保護、条件付き書式、フィルター、並べ替え、関数（SUMIF、VLOOKUP 等）、ピボットテーブル、表、グラフ、等）』について、具体的に業務内のどのような場面で使用するか。	以下はあくまで一例ですが、担当業務内容の『4) ウェブサイト運営者へ対応状況の確認（電話/電子メール）』において、各案件の対応状況等をまとめた管理簿（Excelファイル）内の情報に対して、対象となる案件（レコード）を検索する際などに使用します。
5	仕様書	24	担当業務内容	『3. ③海外出張関連業務（航空券手配等旅行代理店との連絡、精算書類の収集・まとめ（※）、必要機器レンタル等）』について、派遣労働者の資格・要件に英語スキルがないが、英語スキルを必要とした業務はないという認識でよいか。	基本的には国内の旅行代理店やWi-Fiルーターなどの機器レンタル店とのやり取りですので、高度な英語スキルは必要ありませんが、旅行代理店から受け取った航空券のチェック（英語で記載された一部の発着空港名や搭乗者名などの確認）など最低限の英語スキル（読み）が必要となる業務が、若干発生します。（ネット等で単語などを調べることは可）
6	仕様書	25	必須要件	『7) Excel について応用操作ができること。（ブック・シートの保護、条件付き書式、フィルター、並べ替え、関数（SUMIF、VLOOKUP 等）、ピボットテーブル、表、グラフ、等）』について、具体的に業務内のどのような場面で使用するか。	事業の普及に係るWebアクセス数やイベントのアンケートの集計、部内の調達物品の管理等に使用します。
7	仕様書	26	その他条件等	『出張は、年間数回』について、出張場所はどの範囲まであるか。宿泊を伴う出張はあるか。 また、出張に際し、機構の規程や手当はあるか。	出張場所は都内近郊で電車で行ける範囲とします。宿泊を伴う出張はありません。 また、出張旅費については、機構が定める旅費規程に基づき、最も経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の旅行の費用により計算します。
8	仕様書	27	必須要件	『4. テレワーク環境下での通常業務の実施及びリモート会議の実施経験を有すること。』について、テレワーク環境があるだけでなく、実務での経験も必須になるか。また、テレワーク実施の際は機器の貸し出しはあるか。	必須要件欄に記載のとおり、テレワーク環境下での通常業務の実施及びリモート会議の実施経験は必須です。また、仕様書p.17「13. 在宅勤務について」に記載のとおり、『派遣する人材においては、在宅勤務で必要となるPC等情報通信機器及び通信環境を有していること。』としていることから、IPAから機器等の貸し出しは行いません。